

モニタリングチェックシート（令和2年度）

<評価>

施設名	大泉障害者地域生活支援センター
指定管理者名	社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
評価者	障害者施策推進課長

優:特筆すべき実績・成果が認められるもの
 良:管理運営が良好と認められるもの
 要改善:一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> 練馬区情報セキュリティポリシー、個人情報保護条例および情報公開条例に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区と同等の個人情報管理規程および情報公開規程を独自に設け、研修を実施する等、適正に運用している。 労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。 会議等における資料の電子化を進め、用紙使用量の削減に努める等、環境負荷の低減に努めている。 会計規程に従い、適正な会計処理を行っている。
2 施設運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか 計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 施設の利用状況は良好か 利用者アンケート等の評価は良好か 大泉障害者地域生活支援センター運営委員会の評価は良好か 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による区からの指示等について、適切に対応したか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等による意見・要望に細やかに対応し、サービス水準の維持・向上に取り組んでいる。 個別研修計画を作成し、個々の課題や業務分担に応じた研修を受講している。また所内にて外部講師による研修を実施するなど、職員の育成に努めている。 緊急事態宣言中に利用制限していたオープンスペースの利用者数は、2,239人(前年度3,089人)となり、前年度より28%の減となった。 利用者アンケートによる満足度は85.9%であり、評価は良好である。 運営協議会の評価は良好である。 緊急事態宣言下においては、相談業務に限定し、施設を運営した。来所時の検温や手指消毒の徹底のほか、定期的な換気や館内の消毒、飛沫感染防止のためのマスク着用など感染防止対策に取り組んだ。
3 施設の維持管理・安全性への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか 損害保険等の加入状況は適切か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理を適切に行い、記録を整備している。 防災訓練を年に4回実施し、災害時マニュアルを整備している。 損害保険の加入状況は適切である。
4 効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置がされているか 業務の再委託における範囲は適切か 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 収支計画が提案どおり達成されたか その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用実態に応じて柔軟に職員を配置するなど、効率的な人員配置がなされている。 再委託の範囲は適正である。 新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)拡大防止のためプログラム等を中止し、事業計画に変更が生じたが、webツールの活用やパーティション設置などの感染防止対策を講じ、事業を実施した。 収支計画は、事業の中止等で生じた不要経費を感染防止対策経費に充てるなど、適切に調整を図った。
5 施設特性に応じた管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 区が求めた取組を適切に実施しているか 事業者の提案に基づく取組が適切に行われているか その他、選定の際に設定した取組の評価 	良	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターとして、区が求める相談支援の質の向上や困難事例対応に取り組んでいる。 地域の相談支援専門員を対象とした虐待防止の研修を行い、相談援助技術以外の相談員として必要なスキルの向上に取り組んでいる。 事業者の提案により、他事業所と連携し、ピアサポーターや障害当事者を講師としたプログラムを実施し、障害理解の促進や家族の学びに取り組んでいる。
6 地域への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 区内雇用および障害者・高齢者の雇用促進を図っているか 再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか 物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか 地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区内雇用率は75.0%であり、区民雇用に努めている。 再委託や物品調達については、可能な限り区内事業者の活用に努めている。 コロナ禍において地域への障害理解の啓発を継続するため、感染防止対策を講じた上で、区内4か所の図書館に出前研修を行っている。 地域との関わりの中から、知識を持った人材をプログラムの講師につなげ、発災時の対策や防災に取り組んでいる。
総合評価 (講評) 良		<ul style="list-style-type: none"> 項目全般について、区が求める水準を満たしている。 コロナ感染拡大防止について、区の指示に基づき、年間を通して適切に対応した。